



Windows Vista のサポート延長

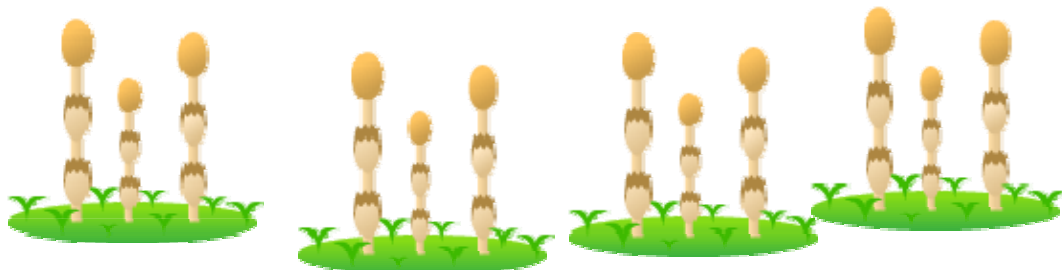
皆さんお使いのパソコンの OS は何ですか？ 今使われている OS は、Windows XP 55%、Windows 7 23%、Windows Vista 11%、MAC OS X 5%だそうです。（net applications 調べ）

Windows Vista は 2007 年 1 月に発売開始され、Home Premium や Ultimate という個人向け製品のサポート期間が今年の 4 月 10 日で終了することになっていましたが、期限切れを目前にした 2 月 20 日、日本マイクロソフトは、個人向け製品にも延長サポートを提供するという形で、5 年間サポートを延長することを表明しました。

サポート期限切れを想定して、すでに Windows 7 にアップグレードしたり、Windows 7 搭載のパソコンに買い替えたりした方にとっては、延長をなぜもっと早く発表してくれなかったのかとの不満もありますが、どうしようかと悩んでいた方にとっては、今のままで 2017 年 4 月まで、5 年間安心して使い続けられるようになったことは喜ばしいことと言えます。

日本マイクロソフトでは、Windows 7 の Home Premium など個人向け製品についても、これまで 2015 年 1 月 13 日までのサポートを、2020 年 1 月まで 5 年間延長することも表明しました。

プログラムの脆弱性とかバグとかが未だに解決されていないままサポートを打ち切ることについて、消費者の強い不満に真摯に対応せざるを得なくなったためではないかと思われます。

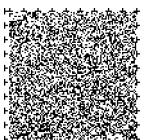


昨年の暮れから町おこしの一環として、櫛田川から祓川までの伊勢街道に面した民家が毎月 10 日、20 日、30 日の夕刻から 3 時間あまりだが家紋の入った行灯を燈すことになった。今ではもう昔の面影もないが我家も伊勢街道に面しているのである。祖母が嫁いできたころにはまだ櫛田橋がなく渡し舟で渡っていたので川止めともなると大変だったそうだが、鉄道の普及と共に瞬く間に廃れてしまった。それでもまだ、「つぼや」、「きょうや」、「えどや」、「えちごや」等々、時代劇にも出てきそうな屋号がいまだに健在である。

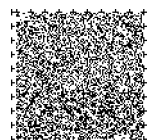
なかでも「つぼや」の煙草入れは有名で、お伊勢参りのお土産として全国にその名をとどろかせていたらしいが、今はその面影も無くひっそりと屋敷跡だけが残っている。

時は流れて、帰路を急ぐ車のみが行きかう人気の無い伊勢街道を、今夜もまたむなしく照らしている。

0.1



今月号は文字数が多いので、第 1 ページと第 4 ページに SP コードを 2 個付けてあります。第 1 ページと第 4 ページでは、先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。





Windows 98 のブート最終段階 (5-4)

ブート・プロセスの制御がブート・セクターの IPL に受け渡されると、ここから先は OS 固有の起動方法になる。Windows 98 のブート・プロセスでは、制御を渡された IPL が同一パーティション内の「IO.SYS」を読み込む。このタイプの IPL を「DOS IPL」と呼ぶ。

DOS IPL により IO.SYS が実行されると IO.SYS は「MSDOS.SYS」をロードした後、CONFIG.SYS や AUTOEXEC.BAT がルートに存在すればそれらを読み込む。さらにデバイス・ドライバなどの初期化が行われる。CONFIG.SYS や AUTOEXEC.BAT がなくても起動するが 16 ビット・アプリケーションとの互換性を確保するために利用されることがある。その後 Windows ディレクトリへ移行してレジストリを参照後、ドライバや「WIN.COM」、各種 DLL など必要なシステム・ファイルが順次読み込まれ Windows 98 が起動する(図 7)。

ここで Windows 98 の起動途中で読み込む MSDOS.SYS の最初の記述を見てみると次のように記述されています。

[Paths]

WinDir=c:\¥windows

WinBootDir=c:\¥windows

HostWinBootDrv=c

MSDOS.SYS の [Paths] セクションには、起動すべき Windows ディレクトリ (OS のシステム・ファイルが格納されているディレクトリ) が記されている。

「WinBootDir=c:\¥windows」という記述から C ドライブの windows ディレクトリから起動することが分かる。ただし Windows のインストール後に MSDOS.SYS の [Paths] セクションを

「WinBootDir=d:\¥windows」のように書き換えたなら D ドライブの windows フォルダから起動することが出来ます。ただし IPL が読み込む IO.SYS や Windows の起動場所が記録されている MSDOS.SYS など、最低限のシステム・ファイルは C ドライブのルートに置く必要があります。

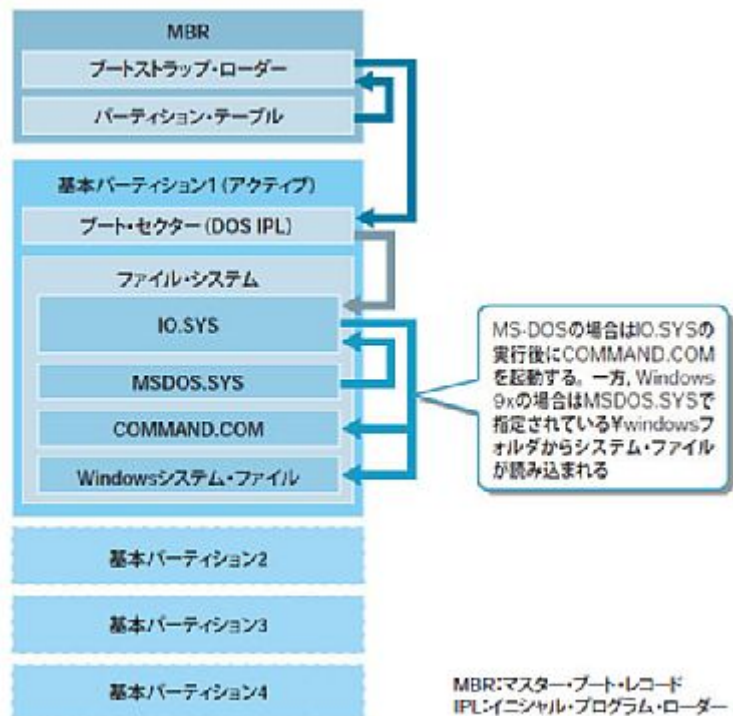
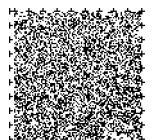
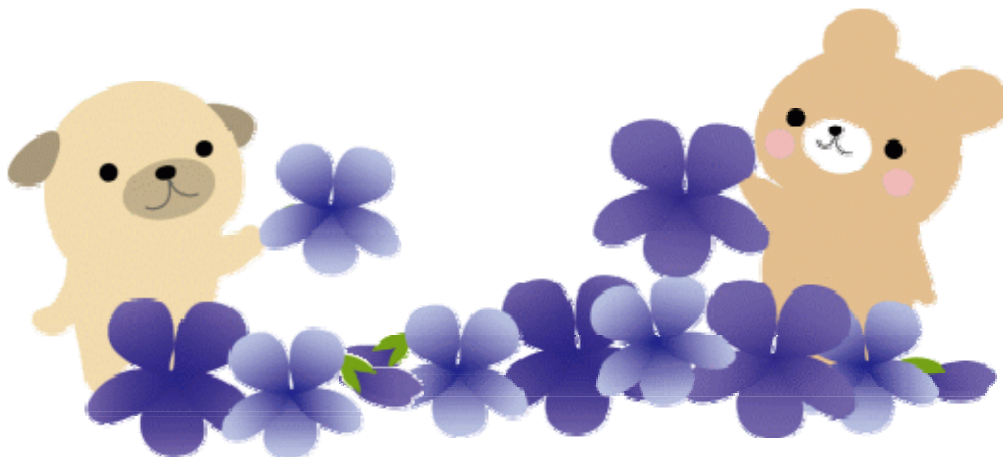


図 7 Windows 98 のブート・シーケンス

つづく



活動報告

【2月】

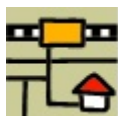
障がい者対象個人向けパソコン講座
(7日、14日、21日、28日)

訪問ITサポート
(22日)

活動予定

【3月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
6日、13日、27日
各 9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



駅をたずねて

上ノ庄駅

JR 松阪駅から名松線の列車に乗って最初に停車する駅が上ノ庄駅です。

田園地帯のなかに小さなプラットホームが1面だけの、名松線で一番新しくできた駅です。無人駅です。(写真上)

この駅の西方約0.9kmには、世界ブランドの松阪肉の老舗「和田金」の直営牧場があります。ここでは、兵庫県市場より厳選した雌の仔牛を導入、未産のままで約2年半~3年間の長期にわたり丹念に管理・肥育しているとのことです。(写真下)

町内には国指定の文化財木造阿弥陀如来座像を本尊として安置する永善寺があります。

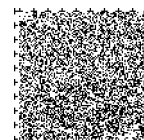
路線名：JR 名松線

所在地：松阪市上ノ庄町 865

開設年：昭和 35 年

乗車人員：1 日平均 12 人 (平成 21 年度)

出典・平成 23 年刊三重県統計書



松阪城跡とその周辺地域の移り変わりー 2

A&E.K

松阪市に住み始めて 50 年近くになります。その間多くの人々から伺ったお話や自分で見たことなど思い出して記してみました。

(城跡内)

二の丸の北方面にある歴史民俗資料館は、もともと飯南図書館として建てられたようですが、今の松阪公民館（前中央公民館）が出来た時、そこに移りました。図書館は、その後、鐘紡跡に新しい図書館が出来て引っ越したので、あとが公民館になったのです。

本丸の南西方面には梅林がありますが、昔に比べると木は少なくなった様に聞いています。昔はこの林の中に瓦ぶきのトイレがあったらしいですが、今はありません。

天守閣の少し下の本丸は松阪市が上水道を始めた時に貯水池がなかったので半地下の様な、貯水タンクが出来ましたが、櫛田川から取水する様になって、貯水地が川の近くに出来たので、今は取り壊されて平地になっています。

本丸の中に井戸があります。この井戸は城から脱出するために作られたと云われ、底から穴を伝わって行くと、今の本居宣長の宮の方に出られると伝えられました。この井戸の側に大木があったけれど、戦後 2～3 年の間の夏の雷が、落ちて一晩かかって焼けたと云われます。今は静かな松阪公園のお庭です。



編集後記



昨年 3 月 11 日に東日本大震災があり、私達がテレビで目にした津波の様子は、信じ難い光景でした。あれからもう一年が過ぎようとしています、被災地の復興はまだまだがこれからです。

がれきの処理もこれからです。華やぐ 3 月ですが、どこか心の中に長く忘れてはいけない出来事です。又この地方にも何時起こるかも解らない地震の事も考える機会かもしれませんね。でも月の後半には、桜もほころぶ事でしょう。

お花見楽しみましょう・・・



CTF 通信第 108 号

2012 年（平成 24 年）3 月発行
発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081
松阪市本町 2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://ctf.dip.jp/>

